

【市議会最前線】市民に信頼され存在感のある議会を目指して＝奥州市議会（岩手県）

25/12/08 08:00 Nf3

奥州市は、岩手県中南部に位置し、豊かな自然と歴史・文化が息づくまちです。アメリカメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手の地元としても知られ、多くの観光名所や伝統行事があります。人口は約10万6,000人、市議会は28名（男性24名、女性4名、定数28名）で構成されています。

奥州市議会では、社会情勢の変化により生じる市政の課題に適切かつ迅速に対応するため、徹底した議会改革に継続的に取り組んでまいりました。

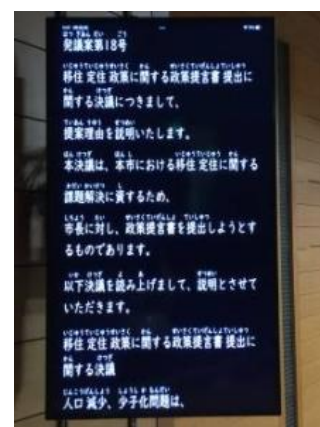
具体的には、議会運営の見える化の推進と情報発信の強化を図るため、議会広報紙のリニューアルを行ったほか、SNSの活用による情報発信や、地元エフエム放送の番組に議員が出演し電波を通じて市民に情報を届ける取り組みを実践してきました。

令和5年には、議場システムの更新に合わせてライブ字幕システムを導入し、傍聴席の大型モニターでライブ字幕配信表示を閲覧できるようにしたほか、インターネット議会中継では字幕付きのままホームページで中継を閲覧できるようにしました。専門用語が飛び交う議場のやりとりをルビ付きの文字に変換することで、耳の聞こえに不安のある人だけではなく、小中高生などにも分かりやすい議論を放映できるなど、主権者教育にもつながりました。

中継の字幕は、およそ150の国と地域の外国語翻訳に対応しており、誰ひとり取り残さないとするSDGsの取り組みにもつながりました。システム導入後は、聴覚に不安のある市民が議場に傍聴にいらっしゃいましたが、議会でのやりとりが良く分かるようになってとても良かったとの声をいただくなど、今ではモニターの近くにお座りになる人が増えています。

今年度は、任期4年間の総括として当市議会基本条例の検証を現在進めており、これまでの取り組みの成果と課題を明確にし、さらなる改善を図る予定としています。また、市議会議員政治倫理条例の制定に向けた取り組みも進めており、市民の皆様からの信頼確保と議会活動の一層の透明性向上を目指しています。

市民に信頼され存在感のある議会を目指し、当市議会では、今後も継続的な議会改革を推進しながら、「チェック」と「提言」による「二刀流議会」で市民の負託に応えてまいります。（了）



傍聴席前の大型モニターによるライブ字幕配信表示